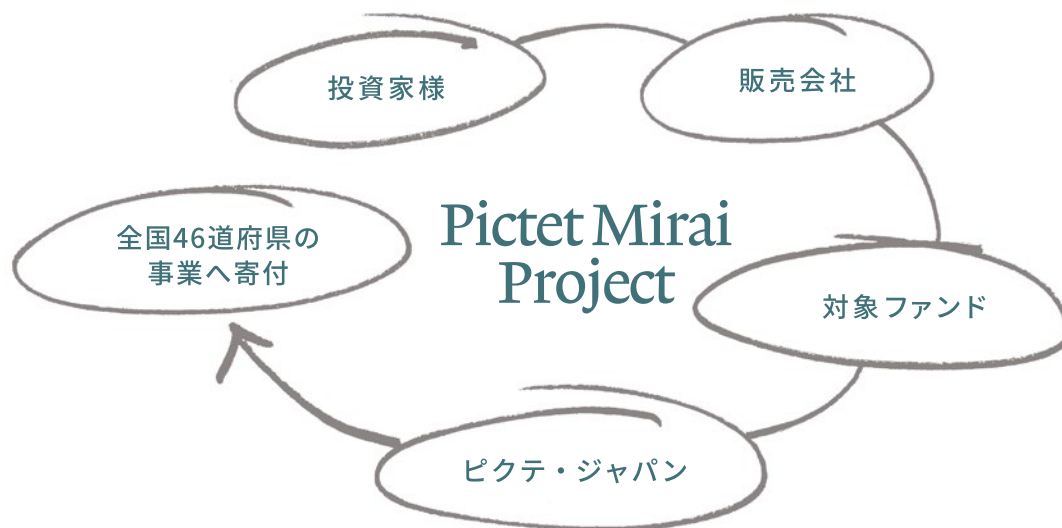


地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、
46道府県[※]の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの
主な寄付のテーマ



環境



教育



栄養



福祉



防災・復興

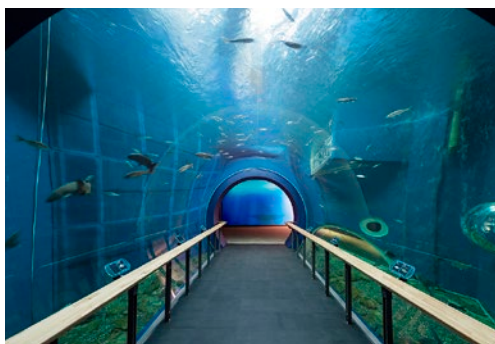
2022年度
寄付先事業例
滋賀県



美しい琵琶湖を守ろう。 水質監視をはじめとした調査等に活用

長い歴史と豊かな生物相をもった琵琶湖を紹介するため、水族資料の収集輸送や水質の管理を行うとともに、日本産希少淡水魚等の保護増殖を行う。令和4年は、環境省が2020年に発表したレッドリストに記載されている30種（うち国指定天然記念物4種、国内希少野生動植物種5種、滋賀県指定希少野生動植物種2種）、計30種の日本産希少淡水魚の保護増殖のため継代飼育を行った。

寄付先事業例のイメージ



トンネル水槽



ハリヨ



保護増殖センター

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、
こちらをご覧ください。

